

- Okubo H, Takizawa M, Izumi Y, Kantake M, Suzuki S, Takano M, Kita T, Totani R, Nagai Y, Honda M, Nakasone T: Presence of multiple HIV-1 subtypes among mothers and children in Japan. *AIDS Research and Human Retroviruses* 17: , 2001(in press).
2. Yamanaka H, Yamanaka J, Okazaki K, Hayakawa E, Miyazawa H, Kuratsuji T, Genka I, Yasuoka A, Oka S: Cytomagalovirus infection of newborns infected with HIV-1 from mother: case report. *Jpn J Infect Dis* 53: 215-216, 2000
 3. Kuratsuji T: Knowledge and perception on mother to child transmission of HIV/AIDS among women and community health workers in Nuwakot district. Nepal. pp1-39, 2000, Crehpa, Jawalakhel, Nepal.
 4. Ishii M, Hayakawa S, Yoshino N, Honda M ,Nishinarita S and Satoh K: Expression of functional chemokine receptors in human placental cells and choriocarcinoma cell lines. *American Journal of Reproductive Immunology* 44: 365-373, 2000
 5. 戸谷良造, 喜多恒和, 井村総一, 太久保秀夫, 大場悟, 杉浦瓦, 須藤寛人, 高野政志, 高山直秀, 塚原優己, 外川正生, 仲宗根正, 早川智, 本多三男, 保田仁介, 吉野直人: 母子感染に関する研究. 平成 11 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV 感染症の疫学研究班報告書 (主任研究者 木原正博): 448-491, 2000
 6. 厚生省 HIV 感染症の疫学研究班・母子感染に関する研究グループ (戸谷良造, 喜多恒和, 井村総一, 太久保秀夫, 大場悟, 杉浦瓦, 須藤寛人, 高野政志, 高山直秀, 塚原優己, 外川正生, 仲宗根正, 早川智, 本多三男, 保田仁介, 吉野直人) 編: 平成 11 年度 HIV 母子感染予防対策マニュアル. 平成 11 年度厚生科学研究費補助金エイズ対策研究事業 HIV 感染症の疫学研究班報告書 (主任研究者 木原正博): 492-553, 2000
 7. 戸谷良造, 喜多恒和, 井村総一, 太久保秀夫, 大場悟, 杉浦瓦, 須藤寛人, 高野政志, 高山直秀, 塚原優己, 外川正生, 仲宗根正, 早川智, 本多三男, 保田仁介, 吉野直人: 平成 11 年度 HIV 母子感染の全国調査研究報告書 (厚生省「HIV 感染症の疫学研究」班・母子感染に関する研究グループ編). 2000
 8. 戸谷良造: HIV 感染・母子感染の疫学 (性の健康医学財団編集: 「性感染症/HIV 感染」). pp., 2001, メヂカルビュー社, 東京 (印刷中)
 9. 戸谷良造: 小児の HIV 感染-鍵は HIV 感染妊婦の管理が握る-, *愛知県小児科医会会報*, 72 (20): 29-35, 2000
 10. 戸谷良造: 母子感染-HIV, 臨床婦

- 人科産科 55 (1): 52-57, 2001
- 1 1. 稲葉憲之, 大島教子, 西川正能, 深澤一雄: 産婦人科感染症, インフォームドコンセントガイダンス(野田起一郎 編): pp296-309, 2000, 先端医学社, 東京
 - 1 2. 稲葉憲之, 大島教子, 西川正能, 深澤一雄: HSV-1, HSV-2 の母子感染. 小児科 41: 1570-1578, 2000
 - 1 3. 稲葉憲之, 大島教子, 深澤一雄, 西川正能, 渡辺 博: 周産期の診断マニュアルウイルス感染と検査. 周産期医学 30: 250-255, 2000
 - 1 4. 井村総一: 幼児学童期の感染症 - AIDS. 板橋区医師会医学雑誌 4: 46-54, 2000
 - 1 5. 井村総一: HIV 感染症. 日本臨床 (領域別症候群シリーズ No.30): 466-469, 2000
 - 1 6. 井村総一: HIV の母子感染. 小児科 41: 1537-1544, 2000
 - 1 7. 石関しのぶ, 井村総一: 感染抵抗の増強. Neonatal Care 13: 37-43, 2000
 - 1 8. 井村総一: ウイルス母子感染, 今日の小児治療指針第 43 版. pp794-795, 2001, 医学書院, 東京
 - 1 9. 宮澤廣文: 現在の小児科感染症とその対策, HIV 感染症. 化学療法の領域 16: 78-86, 2000
 - 2 0. 高野政志, 喜多恒和, 工藤一弥, 吉田純, 古谷健一, 菊池義公, 永田一郎, 小林充尚: HIV 感染妊婦自験例 6 例と母児感染についての考察. 埼玉県医学会雑誌 34: 333-336, 2000.
 - 2 1. 高山直秀: HIV 感染症, 母子感染の現状と最新の治療. 小児科診療 63: 1037-1043, 2000
 - 2 2. 早川 智: ミシェル・フーコー, キース・ヘリング, そしてエイズ. 産科と婦人科 67: 1806-1809, 2000
 - 2 3. 永松あかり, 五味淵秀人, 箕浦茂樹, 野々山未希子, 立川夏夫, 岡慎一, 吉原なみ子: HIV 感染者の精液を用いた夫婦間人工授精についての検討 - HIV 感染と精液所見について -. 日本エイズ学会誌 13 (1): 1-5, 2001
 - 2 4. 五味淵秀人, 永松あかり, 箕浦茂樹, 野々山未希子, 立川夏夫, 岡慎一, 福嶋浩一, 吉原なみ子: HIV 感染者の精液を用いた夫婦間人工授精についての検討 - ウイルス除去法について -. 日本エイズ学会誌 13 (1): 6-9, 2001
 - 2 5. 野々山未希子, 立川夏夫, 岡慎一, 永松あかり, 五味淵秀人, 箕浦茂樹, 吉原なみ子: HIV 感染者の精液を用いた夫婦間人工授精についての検討 - 臨床応用の問題点と課題 -. 日本エイズ学会誌 13 (1): 10-15, 2001
 - 2 6. 保田仁介: 性感染症の現況. 産婦人科の世界 52: 19-28, 2000
 - 2 7. 保田仁介: 産婦人科感染症のすべて - クラミジア感染症. 産科と婦人科 67: 1649-1654, 2000
 - 2 8. 保田仁介: クラミジア感染症 (妊娠合併を含む). 産婦人科の実際 49: 1457-1462, 2000
 - 2 9. 保田仁介: STD の現況 - ピル解禁

から 1 年を経て. 産婦人科の進歩
53: 67-71, 2001

- 3 0. 保田仁介: 付属器炎・PID の起炎菌. 臨床婦人科産科 55: 32-34, 2001
- 3 1. 保田仁介: 母子感染における抗ウイルス剤の投与・母子感染 (図説産婦人科 VIEW-38) (分担執筆). pp54-59, 2000, メジカルビュー社, 東京
- 3 2. 保田仁介: 産婦人科・最新感染症治療指診 2000 年改定版 (分担執筆). pp173-180, 2000, 医薬ジャーナル社, 大阪
- 3 3. 和田裕一, 戸谷良造: 産婦人科感染症のすべて-「HIV」. 産科と婦人科 67: 1531-1536, 2000
- 3 4. 北村勝彦, 長縄聰, 相澤知恵子, 土井陸雄, 木村博和: HIV 感染症; 世界の疫学・日本の疫学. 総合臨床 49 (12): 3109-3110, 2000
- 3 5. 北村勝彦, 長縄聰, 相澤知恵子, 土井陸雄: エイズワクチンの開発. 総合臨床 50 (1): 139-140, 2001

2. 学会発表

1. Totani R, Kihara M, kita T, Honda M, Yoshino N, Nakasone T, Tsukahara Y, Takayama N, Shibata K: National cooperative study on vertical transmission of HIV-1 in Japan. XIII International AIDS Conference (2000 Jul., Durban, South Africa)
2. N Inaba, Oshima K, Nishikawa M, Ishikawa K, Tanaka M, Fukasawa I, Shu Kang Xiong, Watanabe H: Maternal-Infant Transmission of Hepatitis C Virus; Its Clinical Significance. 9th International Congress on Infectious Diseases (2000, Apr., Buenos Aires)
3. Oshima K, Nishikawa M, Okajima Y, Tanaka S, Ishikawa K, Watanabe H, Inaba N: Materno-Infantile Transmission of TT Virus. 9th International Congress on Infectious Diseases (2000 Apr., Buenos Aires)
4. T Nakasone, T Hara, S Naganawa, J Takamatsu, M Kaizu, M Takizawa, T Ohsu, M Kawahara, Y Izumi, N Yoshino, K Yamada, Y Nagai, M Honda: Biological and genetic analysis of HIV-1 in Japan; 12 years observation. XIII International AIDS Conference (2000 Jul., Durban, South Africa)
5. 戸谷良造 (平成 11 年度厚生省 HIV 感染症の疫学研究班・母子感染に関する研究グループ): HIV 母子感染予防対策について—マニユアル発刊を前に—. 第 15 回分娩監視研究会・特別講演 (2000 年 6 月, 東京)
6. 戸谷良造: HIV の母子感染—妊産婦の管理で感染率低下—. 愛知県保険医協会・産婦人科懇話会

- (2000年7月, 名古屋)
7. 戸谷良造: 小児の HIV 感染「鍵は HIV 感染妊婦の管理が握る」. 愛知県小児科医会第 199 回例会講演 (2000年7月, 名古屋)
 8. 戸谷良造: 日本における HIV 母子感染の現状とその防止策. 第 11 回宮城県性感染症研究会・特別講演 (2000年10月, 仙台)
 9. 戸谷良造, 三輪 是, 後藤濤二, 唐沢哲郎, 片平智行, 内田雄治, 柴田金光, 六鹿正文, 足立陽子: HIV 感染妊婦への帝王切開時の問題点. 第 55 回国立病院療養所総合医学会 (2000年11月, 東京)
 10. 戸谷良造, 喜多恒和, 井村総一, 大久保秀夫, 大場悟, 杉浦互, 須藤寛人, 高野政志, 塚原優己, 外川正生, 仲宗根正, 早川智, 本多三男, 保田仁介, 吉野直人: HIV 母子感染に関する臨床的研究第 4 報—HIV 母子感染予防対策マニュアルについて—, 第 14 回日本エイズ学会学術集会 (2000年11月, 京都)
 11. 戸谷良造: 日本における母子感染—平成 11 年度全国調査の結果より— (ワークショップ「母子感染防止のために」). 第 14 回日本エイズ学会学術集会 (2000年11月, 京都)
 12. 戸谷良造: HIV 母子感染・最近の対応 (シンポジウム「性感染症の母子感染・最近の対応」). 第 13 回日本性感染症学会 (2000年12月, 名古屋)
 13. 戸谷良造, 三輪 是, 後藤濤二, 唐沢哲郎, 片平智行, 内田雄治, 柴田金光, 六鹿正文, 足立陽子: 妊婦への HIV 抗体検査の実施率—全国成績と東海地方—. 第 108 回東海産科婦人科学会 (2001年3月, 名古屋)
 14. 阿部史朗: 当院における HIV 感染妊婦の分娩について. 第 15 回日本生殖免疫学会 (2000年12月, 東京)
 15. 瀧川逸朗, 黒森由起, 中村昌徳, 岩村美佳, 間崎亮介, 増永健, 石関しのぶ, 井村総一: Zidovudine 投与による HIV 母子感染予防対策. 第 103 回日本小児科学会 (2000年4月, 和歌山)
 16. 大久保秀夫, 戸谷良造, 喜多恒和, 井村総一, 大場悟, 杉浦互, 須藤寛人, 高野政志, 塚原優己, 外川正生, 仲宗根正, 早川智, 本多三男, 保田仁介, 吉野直人: HIV 母子感染に関する臨床的研究第 3 報—小児科領域からの全国調査結果—. 第 14 回日本エイズ学会学術集会 (2000年11月, 京都)
 17. 大久保秀夫: 感染症とその防御について. 2000 年度キリスト教保育所同盟京都地区研修会 (2000年6月, 京都)
 18. 大久保秀夫: 感染と感染防御. 2000 年度醍醐保育士会研修会 (2000年9月, 京都)
 19. 喜多恒和, 戸谷良造, 井村総一, 大久保秀夫, 大場悟, 杉浦互, 須藤寛人, 高野政志, 塚原優己, 外

- 川正生, 仲宗根正, 早川智, 本多三男, 保田仁介, 吉野直人: HIV 母子感染に関する臨床的研究第2報—産婦人科領域からの全国調査成績—. 第14回日本エイズ学会総会 (2000年11月, 京都)
20. 宮澤豊, 宮澤廣文: 母子感染予防の実際と感染児への対応 (サテライトシンポジウム HIV 感染症治療の手引き— HIV 感染症治療の現状と課題). 第14回日本エイズ学会学術集会総会 (2000年11月, 京都)
21. 高野政志, 戸谷良造, 喜多恒和, 井村総一, 大久保秀夫, 大場悟, 杉浦互, 須藤寛人, 塚原優己, 外川正生, 仲宗根正, 早川智, 本多三男, 保田仁介, 吉野直人: HIV 母子感染に関する臨床的研究第1報—本邦における妊産婦の HIV-1 抗体検査率の全国調査—. 第14回日本エイズ学会 (2000年11月, 京都)
22. 谷口晴記: ケニアでの経験. 平成12年度エイズ予防財団「HIV 感染者等保健福祉相談推進研究事業」第1回三重ブロック会議 (2000年11月, 津)
23. 谷口晴記: ケニア・ナイロビでの Medical Camp 報告: その2. 第14回日本エイズ学会サテライトシンポジウム (2000年11月, 京都)
24. 塚原優己: 当院における HIV 感染妊娠管理の実際 (ワークショップ「母子感染防止のために」). 第14回日本エイズ学会学術集会 (2000年11月, 京都)
25. 塚原優己, 押尾好浩: AMPLICOR C, trachomatis における乳酸による阻害発現の検討. 第13回日本性感染症学会 (2000年11月, 名古屋)
26. 塚原優己, 押尾好浩: dry swab を用いた AMPLICOR C, trachomatis の有用性—1629 検体の検討から—. 第53回日本産科婦人科学会総会 (2001年)
27. 塚原優己: HIV の母子感染予防対策について. 平成12年度君津中央病院院内学術講演会 (2000年7月, 君津)
28. 塚原優己: HIV の母子感染症予防対策について. 第15回千葉 HIV 懇話会 (2000年10月, 千葉)
29. 塚原優己: 産科領域における HIV 感染症. 平成12年度千葉県エイズ治療技術研修会 (2001年2月, 旭)
30. Nagaishgi-Ishii-M, Hayakawa-S, Yoshino-N, Honda-M, Shiekh-A, Nemoto-N, Yamamoto-T: Placentae of HIV positive mothers are HIV infected but does not transfer HIV into fetuses. 第30回日本免疫学会 (2000年11月, 仙台)
31. 五味淵秀人, 永松あかり, 小石麻子, 中江華子, 那須未生, 井上潤, 稲葉淳一, 佐藤孝, 箕浦茂樹: 男性 HIV 感染患者における精液中ウイルスについての検討. 第52

- 回日本産婦人科学会総会（2000年4月，徳島）
32. 中江華子，稲葉淳一，五味渕秀人，箕浦茂樹，岡崎健一，宮澤廣文：ACTG protocol 076 に準じて予防を行った HIV 合併妊婦の3分娩症例。第36回日本新生児学会（2000年7月，東京）
33. 岡崎健一，宮澤廣文，早川依里子，細川真一，山中ひかる，糸川好男，永井周子，倉辻忠俊，中江華子，箕浦茂樹：ACTG protocol 076 に準じて予防を行った HIV 合併妊婦の3乳児例。第36回日本新生児学会（2000年7月，東京）
34. 稲葉淳一，永松あかり，箕浦茂樹，岡慎一，帖佐徹：タイ国における HIV 母子垂直感染予防システムの費用対効果比の検討。第15回日本国際保健医療学会（2000年8月，長崎）
35. 永松あかり，稲葉淳一，箕浦茂樹，岡慎一，帖佐徹：タイ王国パヤオ県における HIV 母子垂直感染予防の現況について。第15回日本国際保健医療学会（2000年8月，長崎）
36. 和田裕一：当院で経験した HIV 陽性妊娠の1例。東北ブロックエイズ拠点病院連絡会議（2000年4月，仙台）
37. 和田裕一：妊娠と HIV 感染症。八戸産婦人科医会講演会（2001年2月，八戸）
38. 杉浦互，岡野愛子，松田昌和，鏡英恵，山田兼雄，福武勝幸，山元泰之，北村勝彦ほか：薬剤耐性ウイルスの現状。第14回エイズ学会学術集会総会（2000年11月，京都）
39. 岡野愛子，松田昌和，鏡英恵，北村勝彦，山田兼雄ほか：長期追跡症例に見る抗 HIV-1 治療が宿主免疫機能に及ぼす影響の解析。第14回エイズ学会学術集会総会（2000年11月，京都）
40. 長縄聰，相澤知恵子，佐藤成大，高橋清美，D，Nosssik，仲宗根正，本多三男，柄久保修，北村勝彦：ロシア共和国における HIV-1 感染症の分子生物学的手法を用いた流行解析。第14回エイズ学会学術集会総会（2000年11月，京都）